

2009年 第2回 IEEE 福岡支部理事会 議事録案 (2009/6/24 版)

日 時：平成 21 年 6 月 20 日 (土) 12:00～16:00

場所：九州先端科学技術研究所 (九州先端研 ISIT) 会議室

出席：岡田、大久保、末次、窪寺、荒木、渡辺、楯崎、乃万、二宮、笹尾、山下、西本、諸岡、牛島 (事務局)

欠席：内田、谷口、常田

*15 名の定員中 13 名出席、内 Elected Officer 9 名で定足数を満たしている。(Section Addendum V-2)

議 題：

1. 前回議事録の確認 ExC-2009-2-2

末次 Secretary より議事録案の紹介があった。

2. JC 理事会報告

岡田 Chair より 3 月 30 日開催 JC 理事会の報告があった。

3. 支部活動状況および会員数の中間報告 ExC-2009-2-3

資料 ExC-2009-2-3 に基づき支部会員数の推移が説明された。支部創立以来 2008 年まで増加を続けていた支部 Active 会員数 (毎年 6 月時点) が 2009 年始めて減少に転じた。原因は member 会員が約 30 名減少したことによる。経済状況に原因があるのではないかと思われる。他のグレードの会員数に大きな変化はなかった。学校別学生会員数では熊本大、九州工業大、琉球大の順に会員数が多かった。ソサイエティ別では例年 C ソサイエティがトップであったが、今年は COM ソサイエティがトップとなった。ソサイエティ別会員数は会員人数と定期購読者も人数に入っているため実感より多めにカウントされているようである。

続いて会計状況について報告が行われた。Section Assessment 約 120 万円は JC にそのまま送金された。Section Rebate 約 60 万円が小切手として入金済みである。内訳はまだ届いていないので未定である。支出としては TENCON 支援費 100 万円を見込んでいる。JC からの Section 支援費の結果が遅れているが、TENCON 支援費のうち 50 万円は JC の結果を待たずに先に TENCON 実行委員会に送金することにした。

4. 福岡支部学生研究奨励賞について

募集案内・募集方法とスケジュールについて審議

楯崎 SAC より学生奨励賞の募集方法とスケジュールについて説明があった。例年と同様のスケジュールで募集する。ポスター送付先については訂正がある場合は自校のみならず知っている情報は全て楯崎 SAC に送ってほしい。

5. その他

5-1. TENCON 準備状況について ExC-2009-2-7

荒木 TENCON Organization Chair より説明があった。Web ページを立ち上げ First Call for Papers を作成した。3 月にハノイで行われた R10 ミーティングでは末次 Secretary が代理となって TENCON2010 のプレゼンテーションを行った。Organizing Committee は大方決定した。会場の LAN 設備専門の担当を分離して Facility Service Committee Chair を新たに設置し筑紫女学園大学 Hiroshi Mochio 先生にお願いした。経済状況を勘案して 400 人参加の当初予算と別に 250 人参加の小規模予算を試算した。査読システムとしては無料の Easy Chair を使うことを検討し始めた。

5-2. Section Addendum 最終確認 ExC-2009-2-5

3 月に R10 Director YJ Park 氏より修正回答を得たので、それを最終確認した。訂正箇所の **more than two consecutive years** のところは任期が 2 年であるのに次の役員が決まらない場合でも続けて 2 年以上勤められないとなっており不具合があるので、**Section2** に移して **No officer may serve in the same position for more than two consecutive years. However, outgoing officers shall continue until their successors are duly elected and take office.** のように順序を変えることにした。

5-3. senior upgrade 促進 ExC-2009-2-6

SAMIEEE 1st level requirement 調査によれば支部内で senior upgrade 該当者 474 人であった。うち 234 人は博士保持者である。これは member のほとんどが senior upgrade 候補に該当するということである。Senior member が増えると支部の rebate 収入が増える。Senior upgrade の促進は Member Development Chair の業務としてはどうかという意見があった。

5-4. その他（事務委託料改訂、旅費規程改正、NASNIT2010）

事務委託料が極めて安価であるため適正な額に近づけるよう多少の値上げをすることが検討された。しかし、直接牛島さんにお金が渡るわけではないのでまず ISIT の上層部に内々に様子を聞くことにした。旅費の改定に関しては宮崎から理事会に参加する場合に飛行機を使えるように、宮崎からの参加の場合航空券の実費を旅費として支払うように改定した。NASNIT2010 に関して、末次 Secretary が NASNIT2009 に参加し 2010 秋に NASNIT を福岡で開催することを打診されたことが説明された。参加者は 50 人ぐらい。韓国と台湾の学生が主な参加者である。参加費を取らないので会場代、プロシーディング代、Banquet 代はホストする支部、大学、地元自治体の手出しである。福岡セクションとしては予算がないので関与しないということになった。開催を引き受ける場合は末次 Secretary が個人的に引き受けること。

（議事録作成：末次）